

実践研究の 基盤を問う

新潟青陵学会

第18回

学術集会



2026年

11月14日 土曜日

10:30~16:30 (受付開始 10:00)

● 基調講演 10:40~12:15

テーマ 「実践報告と学術的研究の距離」

演者：伊藤 嘉高(新潟大学大学院 総合学術研究科)

● ポスターセッション (研究報告・活動報告) 13:15~14:30

● シンポジウム 15:00~16:30

テーマ 「実践報告の学術的意義」

話題提供者：細野 知子(日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科)

杉本 洋(新潟医療福祉大学 看護学部)

板垣 直子(新潟青陵大学 福祉心理子ども学部)

会場：新潟青陵大学

主催：新潟青陵学会

(大会長) 新潟青陵大学 教授
海老田大五朗

【参加申込】

事前申し込みは不要です。
直接会場受付までお越しください。

【参加費】

学会員、新潟青陵大学の学生・大学院生は無料
非学会員は一般1,000円、大学生・大学院生500円

【ポスターセッション申込】

2026年8月24日 正午

※口頭報告は受け付けておりません。

※詳しくは、
大会ホームページをご覧ください。



大会ホームページ

基調講演 10:40～12:15

講演 「実践報告と学術的研究の距離」

新潟大学大学院 総合学術研究科

伊藤 嘉高 (いとう ひろたか) 准教授

主な著書・論文

- ・『移動する地域社会学: 自治・共生・アクターネットワーク理論』(単著) 知泉書館 (2024年)
- ・『アクターネットワーク理論による「フラットな」地域社会の記述はどこまで可能か』『社会学研究』110:29-52. (2026年)

大会長挨拶

「実践研究の基盤とは？」

新潟青陵大学福祉心理子ども学部

海老田 大五郎 (えびた だいごろう) 教授

主な著書・論文

- ・『障害のある人びとの学びをどのようにデザインするか』(編著書) 学文社 (2025年)
- ・『デザインから考える障害者福祉』(単著) ラグーナ出版 (2020年)

ポスターセッション 13:15～14:30

シンポジウム 15:00～16:30

話題提供者

日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科

細野 知子 (ほその ともこ) 教授

主な著書・論文

- ・『病いと暮らす一二期糖尿病である人びとの経験』(単著) 新曜社 (2023年)
- ・『全体論とヒューマニティ』『倫理知・実践知を生み出す』『現代看護理論: 一人ひとりの看護理論のために』(分担執筆) 新曜社 (2021年)

新潟医療福祉大学 看護学部

杉本 洋 (すぎもと ひろし) 教授

主な著書・論文

- ・『メンタルヘルスと表現の実践・知・展開』(単著) 太陽書房 (2024年)
- ・『当事者活動にみる多様性と創造性』『日本保健医療行動科学会雑誌』35(2): 48-56. (2021年)

新潟青陵大学 福祉心理子ども学部

板垣 直子 (いたがき なおこ) 助教

主な著書・論文

- ・『福祉職の専門性を高める養成カリキュラムの課題』『社会学・社会福祉学研究』2:43-53. (2023年)
- ・『ソーシャルワーカー養成における対人援助教育の課題』『保健福祉学研究』17・18:55-64. (2020年)

【お問合せ先】

新潟青陵学会 第18回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町 1 丁目 5939 番地 新潟青陵大学

TEL : 025-266-0127 (代表) FAX : 025-267-0053 (代表)

E-mail : conf2026@n-seiryo.ac.jp

ホームページ : <http://www.n-seiryo.ac.jp/gakkai/>